

ソプラノの皆様

土曜日はお疲れ様でした。

東部福祉センターの会場では狭いくらいに皆さんの声が出ていたと思いました。

本番まで、各自自信のないところ、あやふやなところをなくして、誰かの声に頼らずしっかり歌えるようにしていきましょう！

そうして生まれる全体の一体感こそ、聴いている人に感動してもらえる演奏に繋がっていくと思います。

本番まで頑張ってください！

●4月6日（土）14時00分～16時50分

●東部福祉センター 2階大会議室

●参加人数 S/10、A/14、T/4、B/5

○はじまり

- ・出だしの「は」しっかり長さを保って響かせて
- ・20小節の入り 必ず指揮を見て
- ・34～37小節 「なにもないあそこから」特に2回目 具体的に段々近づいて

○雨

- ・出だし～ ソプラノ可愛らしい音色ではなくしっかり響きのある声で
- ・リハーサル番号4 「ゆるしあえぬもの」もっと表現して
- ・リハーサル番号6～流れを作って
- ・リハーサル番号7～強い意志を持って立ち止まらずに
- ・リハーサル番号9 「おお」気持ちを込めて

○花

- ・リハーサル番号H 「だいちをつよくふみしめて」mpですが、言葉通り気持ちは強く

○温かいシチュー

- ・ソプラノ「かきまわせ」のm-f-mとm-fi-mの音の区別できるだけしっかり。m-f-mの方はオドロドロしく（…!?!□）m-fi-mのfiはなるべく明るい音色で
- ・37小節 「こんや」「あす」「そのつぎのひ」一つ一つ言葉立てて
- ・70小節 伸ばす音 最初は一旦ディクレッシェンドしてからクレッシェンドです。その後、71小節 4拍目にかからずに切ること
- ・102小節 「だから」はしっかり歌うがその後の「せかいじゅう」は遅れない
- ・107小節からはmp メゾとアルトの旋律に対するオブリガートなので強いとダメです
- ・153小節で一旦弱くするのはなくなりました。ffのまま駆け抜けてください。

○ちゅ～るしよ！

監督が楽しい編曲を書いてくれましたが、曲の楽しさにかまけて、演奏は全然楽しくないです。五味さん、あくびをしていました。角本さんと監督と飯塚さんはよく指揮を見てくれていますが、他の人はほとんど楽譜ばかり見ています。正確な音で歌ってこそその楽しい演奏です。怪しい音程は各自責任を持って修正して、顔を上げて余裕を持って歌っている姿を見せられないとやる意味がないです！

男声の皆さん、よろしくお願ひいたします！

(ソプラノの皆ではなく男声に言わなくては！)

○アルデバラン

- ・エッジを効かせて
- ・女声出だし ただ柔らかく歌うのではなく、エッジを効かせて詞の危機感を感じさせて
- ・リハーサル番号H 必ず全員が指揮を見ること！

○母の手

・出だし 前奏のピアノは二分音符で刻みますが、その間の拍をしっかり感じておいて「あわい」を歌いましょう。ぼんやりしたテンポで出ない。

- ・9小節 「よわさとかなしみが」スピード感持って繋げて
- ・13、15小節 ソプラノ4拍目の高音 明るい音色で(29、31小節同様)
- ・リハーサル番号2 女声 男声の旋律に寄り添うように 大きすぎないように
- ・リハーサル番号7 重くならないように
- ・70小節はmpのままです！71小節に入ってからディクレッシェンドします。

○等圧線

・ア・カペラ部分の「なかった」の「た」 絶対に指揮に合わせて！まだ早い人がいます。台無しになります。第1ステージ最後の曲です！

- ・12小節 「ただ」ソプラノ ここで響きと支えを崩さない リズム・響きしっかり皆で揃えましょう
- ・リハーサル番号Cからは必ず3拍子の流れを感じて
- ・130小節「だけ」の前のブレス、絶対に指揮を見て！

○Ave Maria

○Ave verum corpus

○モーツァルト ミサ 全曲

Kyrie

Gloria

Credo

- ・77小節 4拍目必ず四分休符！伸ばしすぎない

Sanctus

Benedictus

Agnus dei

○あなたのことを

・最後のハミング すぐにディクレッシェンドしないで十分に保って響かせてから

---

それではまた土曜日、よろしくお願いいたします！

稲垣朋子

